

# 平成二五年度調査報告

## ― 近世資料に現れる中世 ―

平成二五年十月二日（土）

松本市教育委員会

一 四賀地区の歴史資料等に関する聞き取り調査の概要

(一) 調査の趣旨

(二) 調査の方法

① アンケート調査

② 個別調査

③ 調査結果の資料化

④ 報告書の作成

(三) これまでの調査

① 個人所蔵資料 四〇件四七点

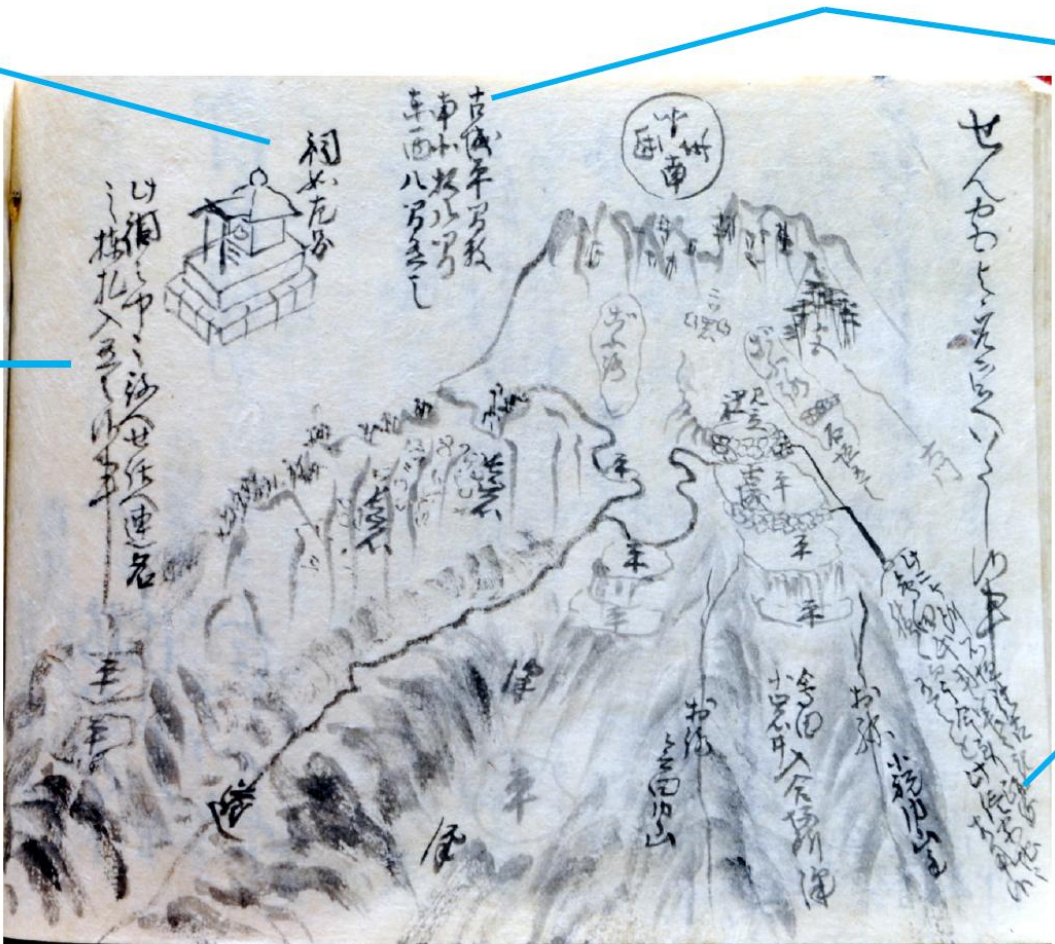
② 社寺関係資料 三〇九件三四〇点

③ 聞き取り調査 七件

二 調査報告

参考資料

① スライド表紙 「安政六年八月日記 虚空蔵山図」

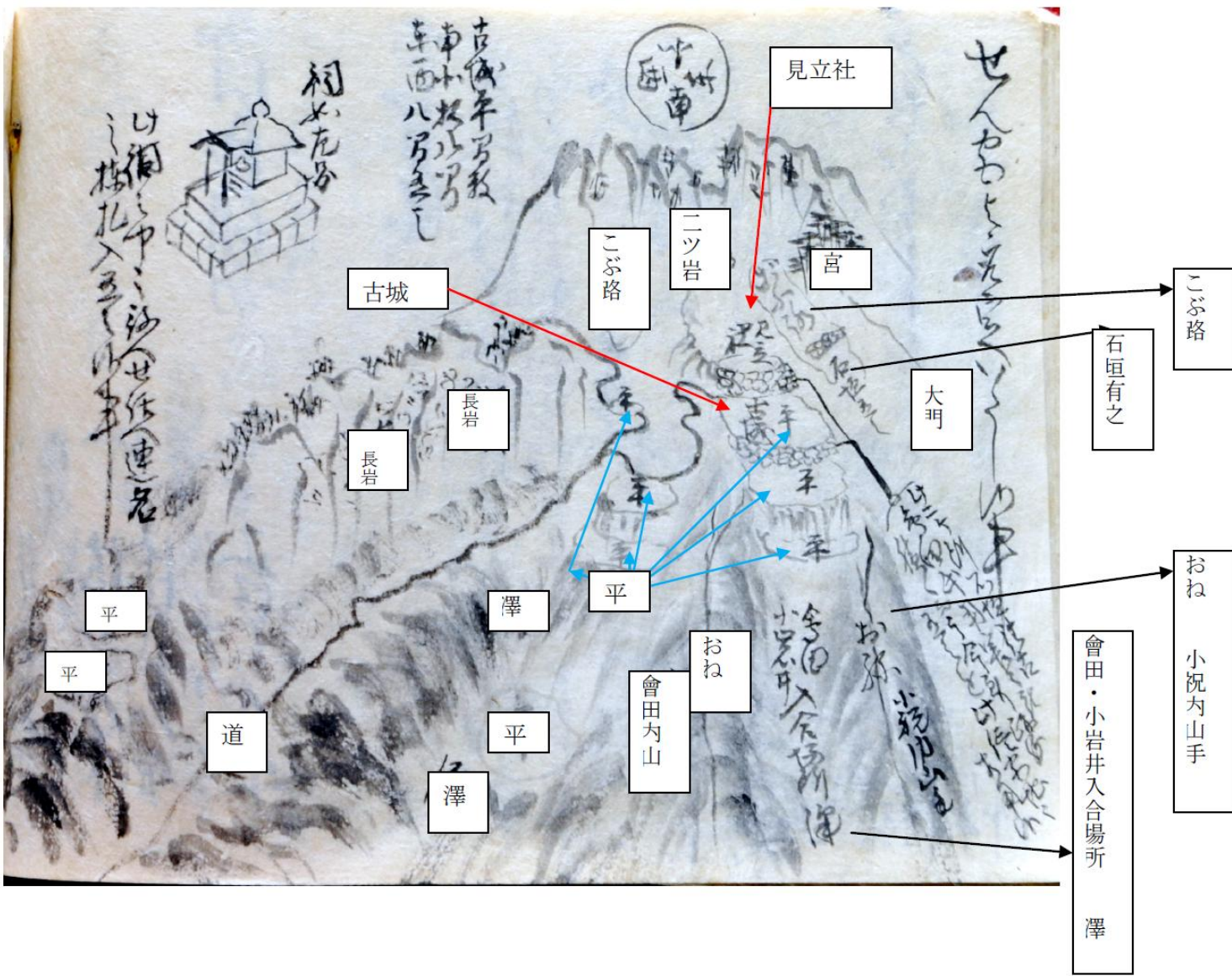


祠左図ごとし

この祠の中み(身) 役人世話人連名の陳札入れこれあり候こと

古城平間数  
南北拾八間  
東西八間これあり

この二ヶ所石垣往古  
會田氏用(要)害と致し  
積み候てここ今に至り、跡所  
これあるを、このまま宮地に  
相八用八候



② 「御被い配り日記」スライド中の文章読み下し

あいた(会田)分

こゆわいの新兵衛殿 茶三袋

急げ寺 上の茶十袋 あおのり ふのり

河原さきのりんすそ 茶五つ あ(お)のり ふのり

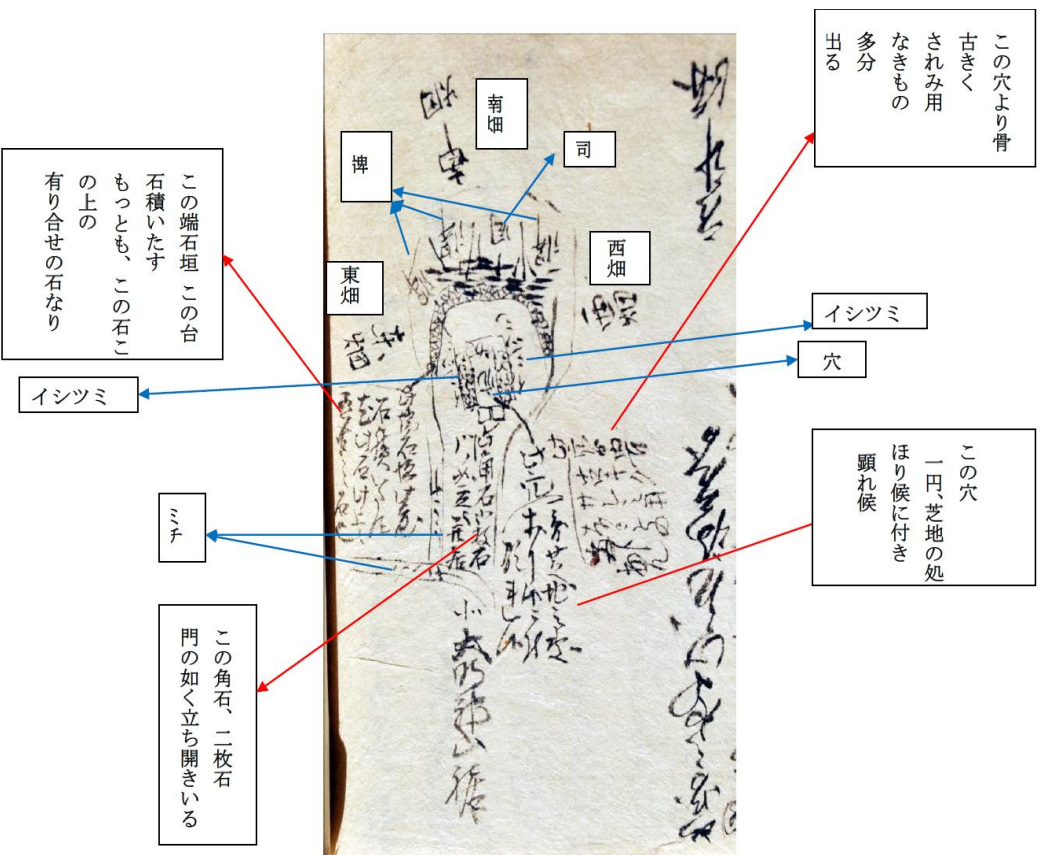


③ 「松平丹波守御預所信濃国筑摩郡會田町村」

知見寺	茶十袋	あおのり	ふのり
ほうそす	茶三袋		
長安寺	茶十袋	あおのり	ふのり
はんやう	茶三袋	あおのり	ふのり
ふた寺	茶十袋	あおのり	ふのり
むれう寺	茶五袋	あおのり	ふのり

④ 安政七年二月二十四日読み下し（にこみ堂部分）

一 当日も、にゆみ堂掘りそうらえども何も出でもうさざる  
 よし 唯だ出でそうろうものは、余ほど古き骨のみ  
 大分出でそうろうよし、場所図のごとし



畑にいたし堂免に相なりそうろう事

一、右に付き自分心得だけ控え 右場所は往古より  
 「ミゆうミ堂」と唱えそうろう、古跡目安の場所ことに、  
 いにしえ、何人のや會田と申す郷士の一門にや存せず  
 そうらえども何れ、格有りの者の墓と見ゆ、